

関西大学経済・政治研究所 第215回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

私たちの研究班は、大阪を中心とする関西地方の社会・労働・経済・政治・法律（裁判）の歴史から現在を照射し、21世紀の現代的課題について考察することを目的としてきた。今回のセミナーでは、西村研究員が、現在の大阪に特に顕著に見られる政治的風土の意味を「反知性主義」という切り口から明らかにする。また、広瀬研究員は、戦後大阪の勤務評定反対運動の実証的分析に基づいて、その意味を再検討する予定である。

＜大阪の社会労働運動と政治経済研究班 主幹 植村邦彦＞

日時：平成28年5月18日(水)13:00～16:10
会場：千里山キャンパス
児島惟謙館2階第2会議室

【テーマと報告者】

「教養主義と反知性主義」

大阪の社会労働運動と政治経済研究班研究員
法学部教授

西村 枝美

「大阪の勤務評定反対運動を再考する」

大阪の社会労働運動と政治経済研究班研究員
文学部教授

広瀬 義徳

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。（定員70名）
- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ TEL(06)6368-1179/FAX(06)6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>



主催
後援

関西大学経済・政治研究所
大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学

